

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	飯田女子短期大学
設置者名	学校法人 高松学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科・専攻名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
	全学共通科目	学科等共通科目	専門科目	合計		
家政学科 家政専攻	4	0	7	11	7	
家政学科 生活福祉専攻			9	13	7	
家政学科 食物栄養専攻			4	8	7	
幼児教育学科		0	13	17	7	
看護学科		0	23	27	10	
専攻科 地域看護学専攻			7	7	4	
専攻科 助産学専攻			11	11	4	
専攻科 養護教育専攻			8	8	7	
(備考) 全学共通科目は、本科基礎教養科目のため、専攻科は対象外						

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=14019

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	飯田女子短期大学
設置者名	学校法人 高松学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=14024

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	平成28年6月1日 ） 令和2年5月31日	広報・募集戦略
非常勤	社会福祉法人理事長	平成28年6月1日 ） 令和2年5月31日	教学
非常勤	会社役員	平成30年6月1日 ） 令和2年5月31日	経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	飯田女子短期大学
設置者名	学校法人 高松学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業概要(シラバス)作成の際、以下の項目の記載について全教員へ要領を配布し作成を行っている。 「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連性」「授業計画」「事前・事後学習について」「準備学習に必要な時間」「評価方法」「受講上の注意・課題のフィードバック」「使用テキスト」「参考書」 ・ 公表に関しては、前年度3月下旬に飯田女子短期大学ホームページで掲載年度当初、全学生へ対象学科の授業概要(シラバス)を配布している。 	
授業計画書の公表方法	http://www.iidawjc.ac.jp/sylla/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飯田女子短期大学学則で単位認定に関する学則を定めている。成績評価の方法については、全ての科目でシラバスに記載し成績評価を行っている。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標として GPA を、全ての科目に設定している。GPA に応じて、注意勧告・退学勧告等による学修指導を行う基準を設定し、学修指導を行っている。 ・算出方法については、成績評価を「秀・優・良・可・不可」で判定し、それぞれ 4.0～0.0 点の成績評価 GP をつけている。 ・学期 GPA (当該期に評価を受けた科目の G P ×その科目の単位数)の合計を、当該期の総履修登録単位数で割って算出する。 ・通算 GPA (各学期に評価を受けた科目の G P ×その科目の単位数)の合計の総和を、総履修登録単位数で割って算出する。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=14037</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針は、 <ul style="list-style-type: none"> ①他者を認めあい、「聞く」「問う」「語る」ことのできる学生 ②無限なるものを感じることができる学生 ③他者と共感しつつ自主的に生きることのできる学生 とし、さらに各学科専攻で卒業の認定方針を定め、飯田女子短期大学HPで公表している。 ・卒業に関しては、飯田女子短期大学学則に卒業認定に関する規程を定め、教授会で卒業の認定を行っている。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	飯田女子短期大学
設置者名	学校法人 高松学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=44
収支計算書又は損益計算書	http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=44
財産目録	http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=44
事業報告書	http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=44
監事による監査報告(書)	http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=44

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

http://www.iidawjc.ac.jp/wp-content/uploads/2012/07/自己点検・評価報告書(平成30年5月).pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

http://www.iidawjc.ac.jp/wp-content/themes/iidawjc/pdf/263iidawjc.pdf

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 飯田女子短期大学 家政学科
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
(概要) 【家政学科全体】 ①建学の精神にもとづき、人間生活の基盤である家族・家庭生活の重要性を理解させ、自己の生活観の形成をはかる。 ②家庭生活を中心とした人間の生活における人と環境との相互作用について理解を深め、家庭生活の果たす役割・機能を理解させる。 ③生活者として必要な高度の知識技能の習得をはかり、社会の変化に対応できる創造性と実践的な態度を育てる。 ④広い視野にたって生活を見つめ、生活課題に気づき、その課題解決を通して、生活の機能向上に寄与できる能力を養う。 【家政専攻】 ①学校教育で求められる養護教諭の総合的な知識・技能・態度を修得し、それらを学校現場で発揮するための実践的な力を育てる。 ②医療機関等で求められる医療事務の知識・技能・態度等を修得し、様々な健康問題を抱える方々の医療・保健・福祉に対応できる力を育てる。 ③生活空間を形成する素材と生活を豊かにする表現についての知識や技術を修得し、創造を形にする感性およびそれを発信できる力を育てる。 【生活福祉専攻】 ・人としての尊厳を守り、自立支援を重視しながら「その人らしい生活」を支えることができるように、介護福祉士として必要な豊かな人間性を養い、知識・技術共に高い専門性と高い倫理観を身につけた人材を育成する。 【食物栄養専攻】 ・建学の精神のもと、家政学科共通の教育目的に沿いつつ、健康を守る食の担い手として、広く社会の要請に応えられる「知識と技術と心」をもった実力ある栄養士等の食の専門家の育成を目指すとともに、社会の向上発展に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) 【家政専攻】 ①養護教諭、医療事務およびデザインのそれぞれの実務に必要な専門的知識・技能・態度等を習得した学生 ②習得した専門性を地域社会でより深めようと思えることができる学生 【生活福祉専攻】 ①人権擁護の視点を持ち、高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけた学生 ②介護に関する制度・施策について基本的理解ができ、基本的な介護技術・知識および医療的ケアを習得し行動できる学生 ③社会に通じるコミュニケーションの基本を理解し、利用者や家族及び多職種と連携が図れる能力を持っている学生

④慈しみの心をもって利用者の思いに寄りそうことができ、相手の立場に立って考えられる学生

【食物栄養専攻】

豊かな感性と各世代の「食生活」を支えるための知識と技能を修得し、自己成長し続けていける学生

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392）

（概要）

【家政専攻】

①養護教諭、医療事務およびデザインの実務に必要な専門的知識・技能・態度の習得ができる教育課程を編成します。

②専門知識を伸ばしかつ多様な分野の学びを通して新たな創造ができる教育課程を編成します。

【生活福祉専攻】

①利用者の存在を尊重し、人権擁護の視点を持ち、高い倫理観を形成できるよう科目を編成します。

②一人ひとりの生活状況や状態を的確に把握したうえで、個別ケアを重視した専門的支援ができる力を育てるように科目を編成します。

③高齢者の生きてきた時代や地域の伝統・文化の理解を深め、利用者の生活習慣や環境を理解できるような科目を編成します。

【食物栄養専攻】

①栄養士の職務とその重要性を理解させ、「食」にかかわる高度な専門的知識・技能の習得を図ります。

②対象者のライフステージに対応できる的確な判断力と指導力を養います。

③「食育」に関する豊かな知識と技術と心を習得し、実践的な食に関する指導力を養います。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392）

（概要）

【家政専攻】

養護教諭、医療事務またはデザインのいずれかに興味を持っている人

【生活福祉専攻】

人に深い関心と思いやりを持っている人

【食物栄養専攻】

①食べること、食事を作ることに興味を持っている人

②食の専門家をめざし、食の大切さを伝えることができる人

③人とのつながりを大切にできる人

学部等名 飯田女子短期大学 幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・人がこの世にあることの意義を理解し、ともに生き、ともに育ちあうことのできる人間の育成を目指す。 ・他者の考え方や感じ方を理解し、尊重することのできる人間教育を目指す。 ・幼稚園教諭・保育士として必要な知識・技能・態度を習得することによって、他者の健全な発達に貢献できる社会人を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ①他者の生命と人権の尊厳および最善の利益を考慮し、信頼関係に基づいた保育を展開できる学生 ②保育の原理を基盤とし、多様化する保育ニーズに対応できる専門的知識・技能を習得した学生 ③保育者としてふさわしい倫理観を備え、保育の職務内容及び責任の理解できる学生
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ①他者と共に生き、他者に寄り添うことができる保育者を養成できるように編成します。 ②保育者として必要な基礎教養と専門的知識・技能を学修し、活用できるように編成します。 ③保育者となるための専門的能力を備え、免許・資格を取得できるように編成します。 ④多様化する保育ニーズに応えるための様々な資格を、学生が自由に選択し、取得することができるよう編成します。 ⑤保育についての理解を深め、生涯にわたって学び続ける態度を養うことができるよう編成します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ①周囲の人と協調し、コミュニケーション能力の向上をめざす人 ②保育の専門的知識・技能を積極的に学ぼうとする人 ③他者への思いやりを持った行動ができる人

学部等名 飯田女子短期大学 看護学科
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
<p>(概要)</p> <p>①人生の根本課題である「生老病死」を仏教精神によってみすえ、しかも看護者として必要な豊かな人間性と人格・識見を養う。</p> <p>②看護者として必要な知識・技術・態度を修得させ、広く保健・医療・福祉の向上発展に寄与することができる社会人を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
<p>(概要)</p> <p>①慈愛に満ちた人格・識見を身につけ、みずからの看護観、生死観をもてる学生</p> <p>②専門知識や技術を活用し、判断能力、応用能力、問題解決能力を身につけた学生</p> <p>③保健・医療・福祉における看護の役割・機能を理解し包括医療に対応できる学生</p> <p>④倫理観や研究的態度を身につけ、専門職者としての資質の向上がはかれる学生</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
<p>(概要)</p> <p>①人間理解につながる基礎分野 看護者は自己の人間観、生死観、看護観、健康観、さらには医療従事者としての倫理観や仏教的な看取りの心得を身につける必要があります。そのために、基礎的な科目に加えて仏教に関連した科目等を学び、看護職としてのキャリアデザインや倫理について自ら考えることで、看護の対象である人間を総合的に考えられるように授業を編成します。</p> <p>②看護の素地となる専門基礎分野・専門分野 病気の成り立ちと治療、専門分野の看護知識と技術を習得し、対象に合わせた日常生活援助の展開を学べるように編成します。</p> <p>③地域社会の実情に対応する看護教育 プライマリー・ヘルス・ケアでの看護の役割や在宅ケアを支える援助方法や地域社会が抱える諸問題について学び、具体的な援助展開ができるように授業科目を設定します。</p> <p>④段階的臨床実習を取り入れた看護教育 専門分化・多様化する医療に対応できる判断能力や問題解決能力を養うために看護過程を主軸として、各実習を段階的に組み入れます。</p> <p>⑤探求心を培うゼミナール (卒業研究) 個別指導にて学生自身が研究課題を明らかにし、課題解明に向けて研究の計画を立案し発表を行うことで、看護を探求する基礎を身につけられるようにします。</p>
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
<p>(概要)</p> <p>①ひとが好きで、かつ尊重して関わられる人</p> <p>②看護に興味・関心があり、意欲的に学ぶことができる人</p> <p>③看護を学ぶための基礎的学力を備えた人</p>

学部等名 飯田女子短期大学 専攻科地域看護学専攻
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
(概要) ①人生の根本課題である「生老病死」を仏教精神によってみすえ、しかも看護者として必要な豊かな人間性と人格・識見を養う。 ②看護者として必要な知識・技術・態度を修得させ、広く保健・医療・福祉の向上発展に寄与することができる社会人を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①実践に適用できる公衆衛生看護の知識と技術おもった学生 ②予防的視点をもって公衆衛生看護活動に取り組むことができる学生 ③個別課題と地域課題をつなげて考えられる視点を持ち、地域全体の健康づくりに貢献できる学生 ④地域住民、関連職種と連携、協働する視点を持って公衆衛生看護活動い取り組むことができる学生 ⑤人間として専門職として自らが成熟することを求めることができる学生
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①実践に適用できる公衆衛生看護の知識と技術を身につけるために、 ・現場で活躍している保健師の講義を多彩に盛り込んでいます。 ・実習は、市町村、保健福祉事務所、事業所、病院、福祉施設等の多様な施設で行います。 ・実習は、単発の保健福祉事業のみの体験ではなく、前期5日間、後期1ヶ月間の実習で市町村保健師の1日の活動を密着して体験し、学習させていただける実習形態をとっています。 ②予防的視点を身につけるために、 ・生活とからだとの関係を理解し、予防のための保健行動を考える講義を展開します。 ③個別課題から地域課題への視点を身につけるために、 ・健康相談を、実習中に様々な場面で見学します。 ・学生が主体となって行う家庭訪問を、継続を含めて1人3件以上実施します。 ・健康教育を、学内と市町村で1人1回ずつ実施します。 ・地域診断は、前期と後期の実習の中で、統計資料及び地域住民、関係職種の生の声から時間をかけて深めていきます。 ④地域住民・関連職種と連携・協働の力を身につけるために、 ・講義では、グループワークで仲間とディスカッションし、学びを深める機会を多く設けています。 ・現場で活躍している多職種の講師からの講義を多く盛り込んでいます。 ・実習では、実際に保健師が連携、協働している場面に参加します。 ・実習では、保健師と連携の多い複数の福祉施設の見学を行います。 ⑤人間として専門職として成熟していく力を身につけるために、 ・保健師の実践力向上に必要なスキルの一つである公衆衛生看護研究に、各自テーマを決め取り組みます。 ・1年間という短期間の中で、保健師の関する学びを深めて国家試験合格できるよう、様々な課題に仲間と共に取り組み、クラス全体で協力して目標の達成を目指せるように、アドバイザーを中心として専任教員がサポートしていきます。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①保健予防活動に興味・関心があり、意欲的に学ぶことができる人 ②公衆衛生看護を学ぶために、看護の基礎知識と統計的知識を備えた人 ③人との良好な関係を築くことができる人

学部等名 飯田女子短期大学 専攻科 助産学専攻
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
(概要) ①人生の根本課題である「生老病死」を仏教精神によってみすえ、しかも看護者として必要な豊かな人間性と人格・識見を養う。 ②看護者として必要な知識・技術・態度を修得させ、広く保健・医療・福祉の向上発展に寄与することができる社会人を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①いのちの尊厳を自覚し個々の人格を尊重でき、死生観に基づいた助産学援助の向上を図れる学生 ②対象の健康状態に対応できる問題解決能力を身につけ、助産実践に必要な知識・技術・態度を習得した学生 ③助産学の本質的概念を理解し、助産の実践や探求する能力を養い自己研鑽力を身につけた学生 ④助産学に必要とされる倫理観や役割機能の理解を深め、慈愛に満ちた人格と人間観を育み、母子健康に貢献・寄与することができる学生 ⑤家庭・施設・社会におけるライフサイクル各期にある女性および家族への諸サービスに対応できる技術を身につけた学生
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①助産援助につながる助産診断・技術を学びます。 助産援助を行うにあたって必要な知識・態度・技術を講義や演習により習得できるようにします。事例検討などを通して、実際の場面に対応できるような授業を設定します。 ②助産師の素地となる基礎的な知識を学びます。 実習病院の医師による講義や各専門分野の講師により臨場感のある講義や演習の科目を設定しています。助産師として働いていくうえで基礎となる知識を身につけられるように授業科目を設定しています。 ③地域社会の実情に対応できる助産的知識を学びます。 助産活動における地域社会が抱える諸問題について学び、具体的な援助展開ができるように授業科目を設定します。 ④実習での実践を通して助産師としての役割を修得します。 専門分化・多様化する産科医療に対応できる判断能力や問題解決能力、実践能力を養うために実習病院と協力して実習を実施していきます。 ⑤助産学研究を実施することで探究心を培います。 学生自身が研究課題を明らかにし、課題解決に向けて実際に研究の過程を行うことで、助産学を探求する基礎を身につけられるように個別指導をしていきます。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) ①助産学を学ぶための看護基礎学力とコミュニケーション能力を備え、実践できる人 ②助産学を意欲的に学ぶことができる人 ③女性および家族におこりうる諸問題に関心があり、その支援に携わりたい人

学部等名 飯田女子短期大学 専攻科養護教育専攻
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=199)
(概要) 教育者としての豊かな人間性で見識をもち、児童生徒等及び教職員の健康の保持増進のために、問題解決の方法を考察した上で、具体的実践を行うことのできる、養護教諭としての高度な専門性を備えた人物を養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) 養護教諭として修得した専門性を学校現場で活かすことのできる学生
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) 学校現場が求める養護教諭に必要な専門知識・技術・態度の修得ができる教育課程を編成します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=2392)
(概要) 子どもの健康や教育に興味があり、養護教諭の専門性を探究したいと考える人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=14029

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	2人	—					2人
家政学科家政専攻	—	3人	2人	1人	1人	0人	7人
家政学科生活福祉専攻	—	2人	3人	1人	1人	0人	7人
家政学科食物栄養専攻	—	3人	0人	1人	2人	3人	9人
幼児教育学科	—	3人	5人	1人	1人	0人	10人
看護学科	—	3人	1人	6人	3人	1人	14人
専攻科地域看護学専攻	—	0人	1人	1人	1人	0人	3人
専攻科助産学専攻	—	1人	0人	3人	0人	0人	4人
専攻科養護教育専攻	—	2人	0人	0人	1人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			人				人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.iidawjc.ac.jp/?cat=90					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学科等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
家政学科	130人	100人	76%	260人	202人	77%	0人	0人
幼児教育学科	80人	50人	62%	160人	107人	66%	0人	0人
看護学科	60人	56人	93%	180人	176人	97%	0人	0人
合計	270人	206人	76%	600人	485人	80%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学科等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
家政学科	110人 (100%)	5人 (4.5%)	99人 (90%)	6人 (5.5%)
幼児教育学科	52人 (100%)	0人 (0%)	49人 (94%)	3人 (6%)
看護学科	46人 (100%)	6人 (13%)	40人 (87%)	0人 (0%)
合計	208人 (100%)	11人 (5.3%)	188人 (90.4%)	9人 (4.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要(シラバス)作成の際、以下の項目の記載について全教員へ要領を配布し作成を行っている。 「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連性」「授業計画」「事前・事後学習について」「準備学習に必要な時間」「評価方法」「受講上の注意・課題のフィードバック」「使用テキスト」「参考書」 ・公表に関しては、前年度3月下旬に飯田女子短期大学ホームページで掲載 年度当初、全学生へ対象学科の授業概要(シラバス)を配布している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)			
・学則で単位認定に関する学則を定めている。成績評価の方法については、全ての科目でシラバスに記載し成績評価を行っている。卒業に関しても、学則に卒業認定に関する規程を定め、教授会で卒業の認定を行っている。			
学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
家政学科家政専攻	6 4 単位	有	単位
家政学科生活福祉専攻	6 4 単位	有	単位
家政学科食物栄養専攻	6 4 単位	有	単位
幼児教育学科	6 4 単位	有	単位
看護学科	1 0 3 単位	有	単位
専攻科地域看護学専攻	3 3 単位	有	単位
専攻科助産学専攻	3 2 単位	有	単位
専攻科養護教育専攻	6 2 単位	有	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)	公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=52
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	専攻名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
家政学科	家政専攻	600,000 円	250,000 円	310,000 円	
家政学科	生活福祉専攻	600,000 円	250,000 円	340,000 円	
家政学科	食物栄養専攻	600,000 円	250,000 円	310,000 円	
幼児教育学科		600,000 円	250,000 円	310,000 円	
看護学科		620,000 円	250,000 円	480,000 円	
専攻科	養護教育専攻	600,000 円	200,000 円	270,000 円	
専攻科	地域看護学専攻	820,000 円	300,000 円	480,000 円	
専攻科	助産学専攻	820,000 円	300,000 円	480,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 各学科専攻は、学位授与方針を明確にして教育課程を編成している。各科目はその学修成果に基づき授業計画、評価方法を整え、履修時に学生に明示している。クラスアドバイザー制、オフィスアワーにより学生の相談体制も整えられている。修学環境は、面積、講義室、実習室、体育館、図書館、グラウンドなど施設整備が行われている。学生寮、アパートの斡旋、自家用車通学学生のための駐車場の整備、また、日本学生支援機構奨学金のほか飯田女子短期大学奨学金、東本願寺奨学金、各修学金について学生課が窓口となり支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 資格の取得をもって専門職に従事することを希望する入学生が多いことから、教員採用試験対策、国家試験受験対策など各学科専攻が取り組んでいる。また、一年次の必修科目「キャリアデザイン」の履修により入学後に卒業後の進路について再度確認できる体制がある。学生課が就職支援室、就職資料室の役割を担い、求人情報の集約および発信や就職相談の支援体制が整っている。科目「キャリアデザイン」、学生委員会による「キャリアサポートセミナー」、アドバイザー、学生課の連携で学生の進路選択に係る支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 2名の医師を学校医として委嘱し、学生の健康管理に努めている。毎年4月に定期健康診断を実施している。健康センターには、職員が常駐しており健康センター委員会が組織化され、心身の健康などに関する相談に対応している。また、外部臨床心理士によるメンタルヘルスカウンセリングの体制、ハラスメント委員会によるハラスメント対応の体制が整えられている。障がい学生への対応は障がい学生支援委員会があるほか、入学前からも配慮願により相談できる体制がある。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : http://www.iidawjc.ac.jp/?page_id=1623